

令和5年度 芸術科 「工芸Ⅲ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年C～F組 選択者
教科書	高校工芸2(日本文教出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
前期	4	●オリエンテーション	●工芸Ⅲについて	工芸Ⅲを学ぶ意義	関心・態度
		●自由制作	■制作	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸 ・染色 ・彫金 ・ガラス工芸 ・樹脂工芸 ・木彫 ・七宝焼 ・その他 	スケッチ 制作中の作品 活動の様子
	5				
	6			選択し制作を行う	制作の様子 制作途中の作品
	7				
	8				完成した作品
	9	●鑑賞	●作品を鑑賞	お互いの作品を鑑賞する。	ワークシート

学期	月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
後 期	10	●自由制作	●制作を継続	前期から引き続きの制作、または新たな課題に取り組むことも可能	ワークシート
	11	■制作			制作の様子 創意工夫
	12	●鑑賞	●作品を鑑賞	完成したお互いの作品を鑑賞し評価しあう。	完成作品 ワークシート
	1				

3 評価の観点

工芸への関心・意欲・態度	工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。
鑑賞の能力	工芸や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

4 評価の方法

<p>みなさんの学習状況は、「工芸への関心・意欲・態度」、「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点から総合的に評価します。</p> <p>(具体的内容：提出作品、授業の取り組み、鑑賞の態度、鑑賞レポート等)</p>
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

<p>工芸はただ伝統的な技法を経験するだけのものではありません。まずは生活の中で工芸がどのように培われてきたか。また今の生活を振り返り、よりよくするために使用する素材、ユニバーサルデザイン、無駄のない工程を工夫しながら制作を考えることから見逃してきた日常生活の潤いを見いだすことができます。</p>
